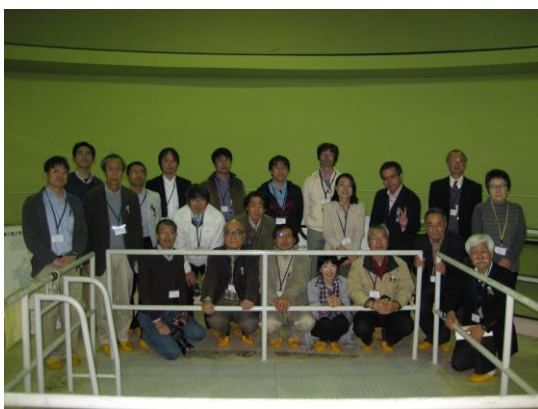


日本気象予報士会の皆さんによる見学会の開催

2014年4月、当施設のホームページに1件の問い合わせがあった。「施設見学をさせていただきますか？」というものであった。「ぜひご見学ください」と回答したところ、4月11日にお見えいただくことができた。原子炉の概要紹介、原子炉室、放射能測定室、制御室の原子炉シミュレータをご見学いただいた。見学後に「とても勉強になったので、今度はグループで見学を申し込んでもいいですか」とご提案いただいた。多くの方に実際にご覧いただき、状況をご理解いただくことは大切なことだと考えているので、そのようなご提案は非常にありがたい、とお答えし、具体的に話を詰めていくことになった。そのグループが、日本気象予報士会の皆さんであった。

取りまとめを行っていただいた方のご尽力もあり、11月22日の見学会には、18名のご参加をいただくことができた。施設見学に加えて、研究紹介を行って欲しいというリクエストがあったため、「放射線の飛跡を観察する霧箱の実験」「長年継続している雨水、空気中の環境放射能測定について」「簡易気象観測装置を用いた研究事例の紹介」の3件を行うこととした。雨水の研究については、共同原子力専攻2年の院生に発表してもらった。今回お越しの皆さんは気象の専門家ということもあり、様々な質問やコメントがあった。原研としても長年取り組んできており、また、今後も継続していくテーマということもあり、非常に有意義な意見交換となった。簡易気象装置を用いた研究事例紹介については、本学環境学部の吉崎先生にお話いただいた。こちらのテーマについても、大変興味深く聞いていただくことができ、装置の詳細に関する質問など、活発な意見交換が行われた。

終了後には懇親会を行った。この場にて参加されている皆さんが実にバラエティに富んだご所属であることを伺い、気象予報士という資格でつながっているこのコミュニティの素晴らしさを実感した。今回の交流の場がきっかけとなり、今後具体的な連携に結びついていければと思っている。



集合写真



講演の様子

2014年11月23日
東京都市大学 原子力研究所